

お客様各位

日頃からエコステーション活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。

皆様から頂いた衣類をリユース、リサイクルすることで、以下の通り、認定NPO法人テラ・ルネッサンスに対して寄付を行うことができました。(5～7月回収分) 子ども服は国内リユース業者へ売却、大人の衣類はフクサポへ寄付し査定額がフクサポからテラ・ルネッサンスへ支払われ、合計で7,650円相当の寄付を行いましたのでご報告いたします。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

11月吉日 薬樹薬局



領収書番号 16-56

寄付金受領証明書

東京都港区赤坂8-5-26
赤坂DSビル4階

薬樹株式会社 様

6,570円

寄付金として、上記金額を受領いたしました。
印紙税法による非課税規定のため、収入印紙は貼付しておりません。ご了承ください。

上記金額は、当法人の行う特定非営利活動に係るご寄付であることを証明いたします。

この寄附金は、所得税、法人税、相続税の優遇措置の対象となります。
優遇措置の適用を受ける場合は、この「寄付金受領証明書」が必要となりますので、
相当期間大切に保存してください。

受領日:平成28年10月4日
認定NPO法人 テラ・ルネッサンス
理事長 小川真吾
京都府指令 6府推第224号
認定年月日:平成26年5月30日
〒600-8191 京都府京都市下京区五条高倉角塚町21番地
jimukinoueda bldg. 403号室
TEL/FAX:075-741-8786



薬樹株式会社 御中

あなたの服を送って世界をサポート
フクサポ



フクサポ

(2016年6月～8月分として)

合計 10箱 **1000円**

服のご寄付をありがとうございました！！

皆様からいただいたご寄付は、カンボジアでの地雷撤去支援やウガンダやコンゴの元子ども兵の人々へ支援を行うための活動資金にさせていただきます。(例えば 100円で、2人分の給食費を賄うことができます)。

上の写真は、ウガンダの元子ども兵。洋裁の授業を受ける様子です。こうして訓練を重ね、手に職をつけ、自立を目指します。

ひとり一人に未来をつくる力がある。これを元子ども兵から多く学びます。家族の未来のため、一生懸命に訓練を積み、技術を磨いていきます。そんな未来に向けて歩む方々への一助になれるよう、これからも皆様とともに活動を続けてまいります。

活動に協力してくださり、ありがとうございました。

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

地雷・子ども兵・小型武器の課題に取り組む国際協力NPO

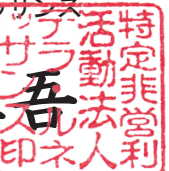
600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町21番地
jimukinoueda bldg.403号室
TEL/FAX: 075-741-8786
Mail: contact@terra-r.jp URL: http://www.terra-r.jp



2016年10月18日

特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス

理事長 小川真吾



ご協力ありがとうございます

薬樹薬局にて、皆さんから集められた衣類は、ゆめみん、フクサポの協力を通して、途上国の地雷撤去や子ども兵の課題に取り組むテラ・ルネッサンスの活動に役立てられます。

ひとり一人に未来をつくる力がある

認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス



活動地：①コンゴ民主共和国 ②ウガンダ共和国
③ブルンジ共和国 ④ラオス人民民主共和国
⑤カンボジア王国 ⑥日本(京都・岩手)
代表者：小川真吾
設立年：2001年
URL：http://www.terra-r.jp/



【テラ・ルネッサンスとは】

すべての生命が安心して生活できる社会の実現を目指し、2001年京都でできた団体です。カンボジアでの地雷除去支援、地雷埋設地域の村落開発支援、ラオスでのクラスター爆弾不発弾除去支援、ウガンダやコンゴ民主共和国、ブルンジでの元子ども兵社会復帰支援、小型武器の不法取引規制キャンペーンに取り組んでいます。日本国内では、講演を通して平和教育活動や、東日本大震災の復興支援事業として、岩手県上閉伊郡大槌町にて「大槌復興刺し子プロジェクト」を運営しています。



【解決のために】テラ・ルネッサンスの取り組み(2016年10月現在)

コンゴにて



洋裁の授業の様子

コンゴ民主共和国は1998年以降の紛争において540万人もの命が失われました。武装勢力の襲撃は現在も横行していますが、そのような状況下で、当会は元子ども兵への溶接技術の職業訓練、孤児・性的暴力を受けた女性たちへの洋裁訓練、紛争の影響で心に傷を負った人々へのカウンセリングや自給食料を確保するための農業支援など様々な活動を続けています。

活動地域に住む女性に対して、今年から開始した訓練も残り2月ほどになりました。制作物なども確認しましたが、コンゴの村々では仕事をしていくのに十分な技術も修得できていたので、2017年1月には、洋裁の仕事を始めようことができると思います。それぞれ順調に、未来に向けて進んでいます。



溶接の技術を身につけて、鉄製の柵を制作した元子ども兵。着実に技術を習得し、収入を増やしています。

カンボジアにて

カンボジアのバタンバン州にあるロカブス村では、家畜銀行を8月にスタートしました。ヤギと牛を貸し出す制度です。村の中の2つのコミュニティで、それぞれヤギは雄と雌2頭ずつを1家族ずつ、牛は雌牛1頭を1家族ずつ貸し出し、子どもが生まれたら雌牛を返却してもらいます。

8月に銀行を始める前に購入してきた雌ヤギの1頭がすでに妊娠をしていました。そして9月22日に無事2頭の子ヤギが生まれました。ヤギは6ヶ月に一度繁殖し、1度に2頭の子ヤギを産むので1年に4頭ずつ増やしていくことができます。ヤギは生まれた子どもを返却してもらい、また別の家族へ貸し出していきます。



9月23日、たまたまロカブス村を訪問したときに、前日に子ヤギが生まれたことを村人が教えてくれました。子ヤギは子犬のようで、人懐っこく、すごくかわいいです。最初に貸し出してもらったおじさんも、近所の子どもたちもすごく嬉しそう、私もすごく嬉しくなりました。牛もヤギも病気に比較的強く、また農村には自然に生えている草を食べて成長するので、餌代もかかりません。これまで農地としてはやせ地で、作物の栽培には向かなかった土地も、牛やヤギの餌場として活用できます。農村には何も無い訳ではなく、コンクリートに囲まれた都市にはない自然の資源がたくさんあります。それを生かす今後の家畜銀行が楽しみです。